

- 例年、見識を高め事業の促進を図ることを目的として、都市計画事業の先進地を視察していますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大状況等を踏まえ、視察を中止しました。例年の視察報告に替えて、都市計画協会の活動を報告します。

令和2年度富山県都市計画協会総会（令和2年8月27日）

- 令和2年度は、都市計画事業に功績があった4名の方を都市計画事業功労者として表彰しました。



- 令和元年度富山県都市計画協会事業先進地視察報告を行いました。

- 視察先
糸魚川市駅北大火からの復興まちづくり（糸魚川市）
居心地が良く歩きたくなるまちづくり（仙台市）
中越沖地震からの復興のまちづくり（柏崎市）



砺波チューリップ公園 新チューリップタワーの完成について ～第70回となみチューリップフェアの開催～

砺波市では、平成26年度に「砺波チューリップ公園再整備基本計画」を策定し、順次、老朽化した施設の更新を進めています。本年3月には公園のシンボルである新しいチューリップタワーが完成し、第70回の節目を迎えた今回のとなみチューリップフェアは最初で最後の新旧ツインタワーでの開催となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、県内の警戒レベルがステージ2に引き上げられる中、今回のフェアでは、入場時の日時指定による制限や全来園者に連絡先を記入してもらうなど、感染防止対策を徹底のうえ開催し、令和3年4月22日からの14日間で14万8千人に来場いただきました。新チューリップタワーの完成式を開催し、登り初めを行った開会初日には、ブルーインパルス展示飛行も行われ、開会に彩りが添えられました。



新しいチューリップタワーは頂上部の高さ26m、展望台の高さ12.6mと、それぞれ旧タワーよりも高くなっているだけでなく、広がった360度の眺望が可能な展望台は、より多くの方楽しんでいただけるようになりました。また、二重らせん階段を採用することで混雑時にもスムーズに上り下りができるようになったほか、分離された歩行者動線は感染防止対策にも資することとなりました。なお、童謡にちなんだ頂上部の花オブジェは、とやまオリジナル品種のチューリップである「とやまレッド」、「白雲」、「黄小町」を表しています。

現在、旧チューリップタワーの取り壊しを進めており、跡地はこの後、円形花壇として整備する予定です。さらに今年度は、老朽化が進んでいる屋外ステージや広場を更新する予定としており、新たな屋外ステージはチューリップの花をモチーフにした半球状のステージとして生まれ変わります。来年の第71回となみチューリップフェアでは、さらに新しい魅力が加わったチューリップ公園を楽しんでいただきたいと思います。



新チューリップタワーの全景



二重らせん階段



新屋外ステージのイメージパース

朝日山公園「見晴らしの丘」の完成

氷見市建設部都市計画課 公園管理担当 主事 上口 陸斗

朝日山公園の西側に整備された「見晴らしの丘」は、市街地や富山湾を一望できる高台にあり、令和3年3月14日に完成しました。

市街地に隣接することから、災害時における市街地周辺住民の緊急避難場所として指定されています。



公園内には、海越しの立山連峰をイメージしてデザインされた大型遊具や休憩施設が整備されています。大型遊具は、眺めの良い景色や自然を感じながら長さ23メートルの滑り台をはじめ、30種類以上の遊びを楽しむことができます。

そして、休憩施設「センターハウス」は、さまざまな活動に利用でき、事前予約をすれば、貸切って利用することも可能です。また、貸切予約が入っていない土日、祝日は、一般開放を行っており（悪天候の日は閉館の場合あり）、トイレ休憩やお弁当を食べるなど、子どもから大人までがゆっくりできるスペースとなっています。



●事業の概要

1. 整備区域
氷見市幸町地内
2. 整備面積
5.3ha
3. 事業費
約12.8億円
4. 事業経緯
H10 事業着手
H10～用地買収、立木補償、
公共トイレ（西側）整備
H15～用地買収、園路工、広場工、植栽工
H22～広場工、駐車場整備
H25 修景池整備
H26 公共トイレ（北側）整備
H28～休憩施設センターハウス整備
H30～見晴らし台、植栽工整備
R2 園路工、照明工、大型遊具の整備
R3 「見晴らしの丘」完成

●施設の概要

1. 建築構造：鉄骨造平屋建て
2. 延床面積：約114㎡（約34坪）
3. 設備等：エアコン、トイレ、テーブル6、ベンチ12
4. 基本使用料：2時間1,670円（貸切の場合）

今後、公園を訪れた人がより一層氷見の自然と景色を楽しむことができ、快適で憩いの場となるよう取り組んでいきます。